

地域密着型通所介護「リハビリデイサービスまな」

運営推進会議 議事録【第3回】

日時：平成29年8月3日（火） 16：40～17：20		場所：リハビリデイサービスまな機能訓練室		
ご利用者様 A様	地域代表 C様	高齢者総合センター 柳野 聡 様	事業所職員	事業所職員
ご家族様 B様	地域包括 原 由美 様	武蔵野市職員 谷村則久 様	事業所職員	事業所職員
◆議題		◆議事内容		
<p>1. 利用状況について（H29年7/1現在）</p> <p>利用者の年齢分布 男女比</p> <p>介護度分布 利用年数</p> <p>1週間の利用回数</p> <p>家族構成（独居・夫婦のみ・家族と同居 等）</p> <p>2. まなの活動内容・特色</p> <p>レッドコードでの体操・マシントレーニング ・理学療法士による個別機能訓練を実施。</p> <p>3ヵ月毎に体力測定を行い、運動能力の評価を行う点について説明。</p> <p>3. 利用者様の状態について</p> <p>利用者の体調等、最近の傾向について。</p> <p>4. 課題</p> <p>今後の課題について</p> <p>5. ご意見・ご要望</p>		<p>1. 年齢構成は80代以上が76%、男女比は男性が57%で、総合事業・要支援・要介護1の介護度の方が62%を占める。開設して満5年となるが、4～5年ご利用の方が30%、2年以上の方を合わせると55%と、長く利用されている方が多い。家族構成では、夫婦のみ世帯が42%、独居が28%と、家庭内の介護力維持に向けた支援の在り方への検討を感じさせる。</p> <p>2. 理学療法士が専門的見地から運動評価を行い、できるだけ効果的な運動実施が図れるような実施を目指している。今回は体力測定の項目毎の数値を集計。全ての項目で3ヵ月前の数値を維持されている方が約6割、上昇の方が2割と、概ね運動能力の維持が伺えた。</p> <p>3. 利用中止も出ているが、ここ2・3ヵ月は新規利用開始の方も多し。暑い時期で長期欠席の方もいるが、7割前後の稼働はできている。</p> <p>4. 介護保険サービス以外の面で、どのような地域活動ができるか、検討・模索を要する。熱中症予防への対応実施と、利用者への周知徹底 等。</p> <p>5. 理学療法士がおり、専門的な運動療法ができる点が良い。独居の方の増加傾向の中で、社会性の保てる場としての役割や、送迎・安全見守り等の点での支援の在り方についての検討・対応が求められる。男性の利用が多い点で、通所に抵抗感のある男性の受け口としての役割も見受けられる。家族内介護力の低下傾向の中で、自立度の維持と、短時間でも介護外の時間が作れる事に期待 等。</p>		